

OSAKA女性活躍推進事業【大阪府】

地域の実情と課題

●大阪府内における産業構造

府内に本社を置く企業の内、中小企業が占める割合は99.6%(約27.1万社)、うち小規模企業は83.8%(約22.8万社)

●大阪府内における女性の就労状況・就業率

大阪府の就業率(15~64歳)は、全国45位と低い状況。

●女性ロールモデルの不足

管理職・役員として第一線で活躍している女性が社内にはないことが課題である。女性活躍が進んでいない要因・・・女性ロールモデルの不足53.9%

事業の特徴

●「OSAKA女性活躍推進ドーン de キラリ 2ays」の開催

女性活躍推進のホームグラウンドであるドーンセンターにおいて女性活躍推進に関連する様々な事業をOSAKA女性活躍推進月間(9月)に、2日間にわたり開催。

●ロールモデルに学ぶ！働く女性のスキルアップ研修

社内にロールモデルや同じ立場の女性社員がいない企業に、女性のキャリアアップと、企業の枠を超えたネットワークづくりを支援。

●「ライフデザインの描き方セミナー」の実施

自分らしい「働き方・生き方」を選択できる能力を培うことのできるセミナーを、高校、大学で実施。(3カ所)

目的・目標

●事業の目的

産学官等9団体が構成する「OSAKA女性活躍推進会議」と連携のもと、女性が輝く大阪の実現に向けて、企業の経営者や若者の意識改革にかかる啓発事業を充実・強化していく。オール大阪で女性の活躍推進に向けた機運醸成に努め、男女が持てる力を存分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる元気な大阪をめざす。

●目標・達成状況

大阪府の女性の就業率(労働力調査・年平均)は、平成26年:44.8% ⇒ 令和元年:51.0%(6.2%上昇)と着実に上昇している。

連携団体

●OSAKA女性活躍推進会議

構成団体:大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、公益財団法人21世紀職業財団(関西事務所)、近畿経済産業局、日本労働組合総連合会大阪府連合会、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム

●大阪府男女共同参画推進ネットワーク

●大阪府「女性活躍推進庁内連携会議」

事業の効果

●女性の就業や男性の家事育児参加等について府民に意識啓発を行うことで、女性の就業環境の改善が期待される。

●役員や管理職として活躍する人から、部下育成やマネジメントのノウハウや、役職者として必要なスキルなどを学ぶことで、キャリアアップへの不安を解消し、役員や管理職をめざす人を増やすことが期待できる。

●生徒・学生向けの啓発事業を実施することで、生徒・学生が就職先企業の女性活躍推進の取組を重視するようになれば、企業側が女性活躍推進の必要性を認識し、ひいては社会全体の女性活躍推進に向けた機運醸成につながることが期待される。

【効果検証】「男女いきいき・元気宣言」登録事業者数 令和2年度末 585社
(令和元年度末504社。対前年81社増)

今後の課題

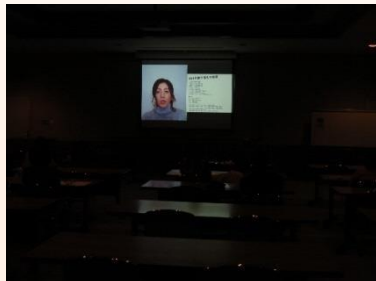
●大阪府の女性の就業率は、上昇率が全国に勝り全国との差は縮まりつつあるものの、全国45位であり依然として低い。

●これまでの企業への働きかけに加え、就業している若い世代や、就業前の生徒・学生をターゲットとした事業が引き続き必要。

事業の概要

●OSAKA女性活躍推進ドーン de キラリ 2ays (令和3年1月22日・23日)

企業における女性活躍推進をテーマとした女性活躍推進セミナーや、府民向けトークイベントをはじめ、各種セミナーや合同企業説明会、相談会など、女性の活躍応援イベントを展開。一部事業にはWEBを実施。
参加者は1,212人(WEB:1,105人、来館:107人)



◆ロールモデルに学ぶ！働く女性のスキルアップ研修(2回)

女性の役員・管理職登用を促進するため、「大阪府男女いきいき表彰」受賞企業の社員や「大阪サクヤヒメ表彰(大阪商工会議所が実施)」の受賞者がロールモデルとして出演するセミナーを実施。女性のキャリアアップと、企業の枠を超えたネットワークづくりを支援。

①8/25(参加者86人)対面・オンライン ②11/10(参加者56人)オンラインのみ



●ライフデザインの描き方セミナー (3カ所)

社会人ロールモデルによる体験談の発表やグループワーク等を通じ、自分らしい「働き方・生き方」を選択できる能力を培うことのできるセミナーを、高校2校、大学1校で実施。

(参加者 計371人)

